

# 医療的



我が家の長男。いつも2人を優しく抱き守ってくれ、ママもいつもここに笑顔のお兄ちゃんが大好きなんだよ

会場に一部

## デイサービス「ふ」



トークイベントに参加した國森さん(右)

### トークイベント

「一方で将来に不安は尽きない。高等部を卒業した後の進路が見えてこない。親がいなくなったとき、どう暮らしていけばいいんだろう」と瑞穂さん。「遠くの施設に入るのは寂しい。地域全体で暮らしやすい仕組みがあれば」と訴えた。

(形田怜央菜)

# 沖島散策道の橋改修に協力

## 奥井総建へ自治会感謝状

### 近江八幡

琵琶湖に浮かぶ八本の橋のうち、四本かぶ近江八幡の改修工事が完了した。無償で工事に協力した同市の沖島で、



茶谷副会長(左)から感謝状を受け取る奥井代表(右)＝近江八幡市の沖島コミュニティセンターで

島町の奥井総建に二十六日、自治会が感謝状を贈った。

沖島小学校から弁財天まで九百ほどの散策道の途中には、くぼみや水辺などの歩きにくい場所が点在し、自治会が二十年ほど前に橋を整備した。老朽化が目立つようになったため、市が改修を計画し、資材の購入費を助成。工事は奥井総建が協力し、二〇一九年度に二本、二〇二〇年度に一本を付け替えた。

二二年度に改修した橋は



改修が完了した散策道に架かる橋＝近江八幡市沖島町で

全長十五メートル、幅一・二メートル。建設用の足場に網状の鉄板を固定し、その上に防腐加工した杉板を敷いた。転落防止用のポールと手すりを設けた。改修済みの三本の橋には、長持ちするように防腐剤を塗り直した。

沖島コミュニティセンターで、自治会の茶谷昭一副会長(右)から感謝状を受け取った同社の奥井敦史代表(左)は「困ったことがあれば声を掛けて。補助金の有無に関係なく、やりますから」と約束し、茶谷副会長は「大変ありがたい。末永いお付き合いを」と感謝した。(松瀬晴行)

## プロローグ

文化産業交流会館だより

日常的なコミュニケーション手段としての言葉。でもその言葉を介さなくても伝わってくる、胸打たれる身ぶりや表情。そんな身体表現ならではの「想像力」があふれる作品に出合ってみませんか。

### 「想像力」あふれる作品と出合いを



「想像力」あふれる作品と出合いを  
「想像力」あふれる作品と出合いを  
「想像力」あふれる作品と出合いを

小学生から中学生が対象で、言葉を使わずに自分の体のみで表現する「パントマイム」に挑戦。あなたの内に秘めた感情、考えを、自分の体で目いっぱい表現してみてください。自分だけの表現を見つけてください。今まで見えていなかったものが見えてくるかも知れません。

来月10日、